今、私たちのデザインが実際に一緒になっていることがわかります。そして、それはすでにかなり素敵に見えます。

しかし、これは、最初に望んでいたものと比較して、ここの情報セクションでは少し異なるように見えるいくつかのことです。

これらは、ページから少し飛び出しているように感じるために、角を少し丸くしたり、白い部分の下に少し影を付けたりするような、非常に微妙なものです。 したがって、このように見えるようにするために必要なものをカスタマイズするか、事前に構築されたものを使用することができます

  カードと呼ばれるウィジェットクラス。 そして、あなたが日々使用する多くのアプリ、特にGoogleのアプリでこれを見たかもしれません。

これは非常に微妙に影付きの長方形で、4つのエッジすべてに小さな曲線があり、かなりの量のパディングがあるため、コンテンツはカードの中央に配置されます。

カードウィジェットを使用するだけで、本当に簡単に作成できます。

代わりに、コンテナをカードウィジェットに交換しましょう。

そして最初に気付くのは、赤い線がいくつかあることです。それは、カードウィジェットに実際にはパディングプロパティがないためです。

それでは、両方に設定したパディングを削除しましょう。

ただし、パディング以外はすべて完全に有効です。カードには設定可能なマージンがあります。

ここには、アイテムを含めることができる子があります。

そして今すぐ保存を押すと、情報セクションが自動的にカードのように見えることがわかります。

唯一の問題は、カードにパディングがないことです。

それでは、カードにパディングが存在しないため、変更したいプロパティを実際に持たないウィジェットがある場合、何ができるでしょうか？

しかし、Flutterのドキュメントを見ると、パディングと呼ばれるものに出くわす可能性があります

クラス。そして、これは他のウィジェットの親として追加できるウィジェットであり、パディングを与えます。

そして、これはあなたがそれを使用する方法です。

したがって、カードウィジェットの親としてパディングウィジェットを使用できます。

そして今、あなたはそれの周りにいくつかのパディングで終わることになります。

今、パディングを使用する方法は非常に興味深いです。

先に進み、パディングを追加しましょう。そして、カードの内側に列を埋めるので、列の周りでそれを行います。

したがって、行ウィジェットにカーソルを選択または配置し、OPTIONまたはALT を押しながらEnterキーを押して、意図アクションメニューを表示します。そして、新しいウィジェットでラップを選択しますが、その新しいウィジェットはもちろんパディングになります。もちろん、パディングにはパディングプロパティがあり、25ポイントのパディングでEdgeInsets.all に設定します。

今、あなたは私たちの列の周りにすべてこの巨大なスペースを持っていることがわかります。

だから、パディングは一周し、それの子。

私たちがパディングを包んだウィジェットの周りにソフトブランケットを追加しているようなものです。

私たちの場合、それが私たちの行です。

そのため、行は25ポイントのパディング内に存在するようになりました。

さて、代わりにカードの周りにパディングを置いたらどうなると思いますか？でまあ、その場合、私たちは私たちの行から私たちのウィジェットを削除することができ、私たちは私たちのカードに追加することができます。

また、ウィジェットの周囲にパディングを追加することは非常に一般的なアクションであり、既にこのメニューで実際に選択できることがわかります。そして、あなたはそれを選択することができ、それは一定量のパディングで事前に構築されています。

だから25にの変更をしましょうそして、あなたはパディングがカードの周りに行くとき、それは実際にはいないことを確認することができ、それは我々が間にスペースのビットをわずかに大きいカードを取得することである、望んでいたということであるものを達成するエッジカードと実際のコンテンツ。

しかし、この場合、実際に起こったことは、パディングがカードの周りを回り、カードの周りにマージンを追加したように見えます。

パディングを追加するとき、パディングウィジェットの子は、本質的にそれを包み込み、他のすべてから分離されたブランケットを取得することを覚えておくことが重要です。

先に進み、そのパディングを削除します。

カードウィジェットを使用して生活を楽にするだけでなく、Flutterのカードで非常に一般的に使用されるものを使用して行ウィジェットを削除することもできることをお見せしたいと思います。

そして、それは非常に一般的に使用されているため、ドキュメントで言及されています。FlutterのWebサイトでドキュメントを参照するときは、通常、seeというセクションもあります。

そして、これはこのウィジェットで実際に一般的に使用される他のウィジェットに非常に役立ちます。

そして、ここでは、リストタイルと呼ばれるものを指しています。

そして、これはアイコンとテキストをカードに表示します。

まあ、それは私たちが必要とするもののように聞こえますか？

それをクリックして、それが何をするのか見てみましょう。

これは単一の固定高行で、通常はテキストと先頭または末尾のアイコンが含まれます。

そのため、このすべてを実装するはるかに便利な方法のように思えます。行を作成する代わりに、このリストタイルを代わりに使用します。

そのため、行を切り取り、参照のために一番下に貼り付けます。そして、カードの内側に、子供の頃、リストタイルを追加します。また、リストタイルには多くのプロパティがあることがわかります。

その行の左側にある先頭の領域、タイトルは少しテキストを入れることができますが、サブタイトルを持つこともできます。

そして最後に、最後のアイコン。リストタイルを追加して、アイコンになる主要なウィジェットを追加しましょう。

だから私はすべてのアイコンを取り、ここに貼り付けます。

それでは、重複したコンマを削除しましょう。

これで、リストタイトルにタイトルを追加できます。

そして、そのタイトルはもちろん私たちのテキストになります。

テキストの下部から上部へ、

これをここに貼り付けます。

これで、リストタイルとテキストが作成されました。残りは削除できます。

だからそれはずっと短いです。

[保存]をクリックして結果を確認すると、先頭のアイコンとタイトルの間にすでに少しのスペースがあることがわかります。

そして、リストタイルの周りに少しパディングがありますが、すでにかなり見栄えがします。

そのため、挑戦として、他のリストタイルを再フォーマットして、まったく同じことを行い、リストタイルのドキュメントを調べて、他にカスタマイズできるものを確認します。ここで変更する必要があるのは、このカードだけです。また、このカードには現在、削除する行があります。

そのため、行のコメントを見つけて、必要に応じてこの行を切り取り、最下部に置きます。

そして、リストタイルを子として追加し、アイコンとなる主要なウィジェットを作成します。

それをここに入れて、余分なコンマを削除すると、ここにテキストウィジェットになるタイトルも付けられます。

それをそこに貼り付けましょう。これで、これらすべてを削除でき、保存できます。

デフォルトでは、カードには白色が付いています。したがって、このカラープロパティを削除しても、カードに関する変更は行われません。

そして、材料設計の原則に準拠した事前に構築されたウィジェットを使用できるため、この非常に単純化されたコードが作成されていることがわかります。そして、私たちがしなければならないことは、使用するウィジェットとそのプロパティを設定する方法を把握することです。

これにより、これらのウィジェットの外観を好みに合わせてカスタマイズできます。今やらなければならないことは、コラムを中央に配置することです。

それで、あなたはまだそれをする方法を覚えていますか？コラムのドキュメントからそれを見つけるために自分自身に挑戦できるかどうかを確認してください。コラムのコンテンツを中央に配置する方法を理解できるかどうかを確認してください。

列クラスに向かいましょう。コラムの以前のレッスンからこれを既に覚えているかもしれませんが、設定できる最も重要なことの1つは、交差軸の位置合わせと主軸の位置合わせです。主軸は、主軸に沿って子を配置する方法を決定します。列の場合、もちろんこの軸に沿って配置されます。

それが私たちが中心にしたいものです。

それでは、列を作成した場所を見つけて、そのすぐ下にメイン軸の配置を追加し、それを中央に変更します。

そして今、すべてのアイテムが真ん中に押し込まれ、小さな名刺のように見えるようになります。したがって、最後に追加する必要があるのは、このセクションとこのセクションを区切るための小さな行です。そして、これを行うために、サイズの付いたボックスを追加します。これは、列内に固定された高さの何かを追加する非常に簡単な方法だからです。そして、私はそれにわずか20ポイントの高さを与えるつもりです。そして、アイム・ゴナそれを子供に与えます。そして子供はあるつもり水平線も。

そのため、Webデザインには、単一の水平線を作成する水平ルールと呼ばれるものがあります。

しかし、Flutterには分周器と呼ばれるものがあります。そして、dividerクラスは、画面に1ピクセルの太い水平線を単に配置します。

それを子として追加しましょう。そして、その色を多分素敵な明るい青緑色に変更しましょう。

そして、この線が端から端に向かっていることがわかります。

では、少し短くしたい場合はどうでしょうか？

さて、サイズが変更されたボックスのサイズを実際に変更できるのは、現時点では幅が画面と同じ幅だからです。

幅を150 ピクセルに変更するとどうなりますか。これで行が少し短くなり、トップグループとボトムグループを分離するのに十分です。そのため、このモジュールでは、コンテナ、列、行などのレイアウトウィジェットだけでなく、サークルアバターやカードウィジェットやリストタイルなどのカスタマイズ可能なウィジェットを含む多くのウィジェットを探索しました。

そして、ドキュメントを使用して、これらのウィジェットのどのプロパティを設定し、好みに合わせてカスタマイズできるかを確認しました。

最後に、カスタムフォントとアイコンを使用してデザインを実現する方法についても学習します。

ですから、今こそこのアプリを更新して自分のものにする時間です。

自分用にパーソナライズしてください。

それを変更して、あなたの詳細や仕事の説明など、これについてあなたが変更したいものを持ちます。そして、完了したら、hashtBrew を使用して、コミュニティおよびあなたと一緒にコースを受講している他のすべての人と共有してください。そして、私はあなたの素晴らしい作品のすべてを見るのを楽しみにしています。

このモジュールについてはこれですべてです。

次の機会で会いましょう。